記者発表資料

平成２１年7月２３日
国土交通省　湯沢河川国道事務所
国土交通省　玉川ダム管理所

7月１９日の低気圧による玉川の出水状況について～速報値～

この度の大雨により、玉川流域には大量の雨が降り、下桧木内雨量観測所において２１４mmを記録し、長野水位観測所では最高水位３．５７ｍを観測しました。

この大雨の影響により、玉川ダムへは６０９m3/秒流入しましたが、最大で約４１０m3/秒をダムに貯め込み、そのうち約２００m3/秒だけを下流の玉川に流し、下流河川水位の低減に努めました。

その結果、大仙市長野地点（玉川）において約５０ｃｍ水位を下げることにより、はん濫危険水位を下回り、洪水はん濫の危険性を低減できたものと推定されます。

１．洪水調節について

・最大流入量	６０９m3/秒
・最大流入時の放流量	１９９m3/秒
・調節量	４１０m3/秒
・最大放流量	２００m3/秒

２．玉川ダムと下流河川

玉川ダムにおいて、ピーク流入時における流水の約６７％を貯めたことにより、ダムがない場合と比較して**長野地点で約５０ｃｍ水位を下げることができた**ものと推定されます。

また、長野地点下流鑓見内（やりみない）地区においては、ダムがなければはん濫危険水位と同等の水位となり、はん濫の危険性が増していたものと思われます。

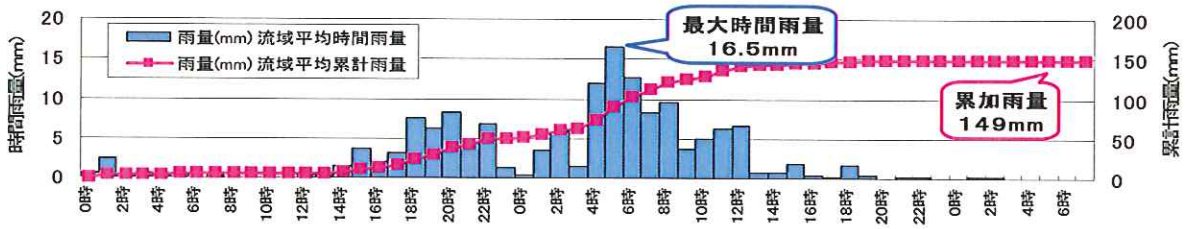
問い合わせ先

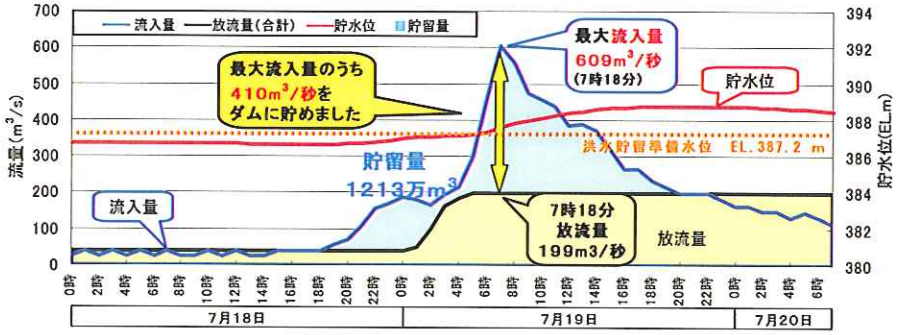
国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
TEL　０１８３－７３－３１７４
副所長　阿部　富雄（内線２０４）
調査第一課長　堀井　寿（内線３５１）

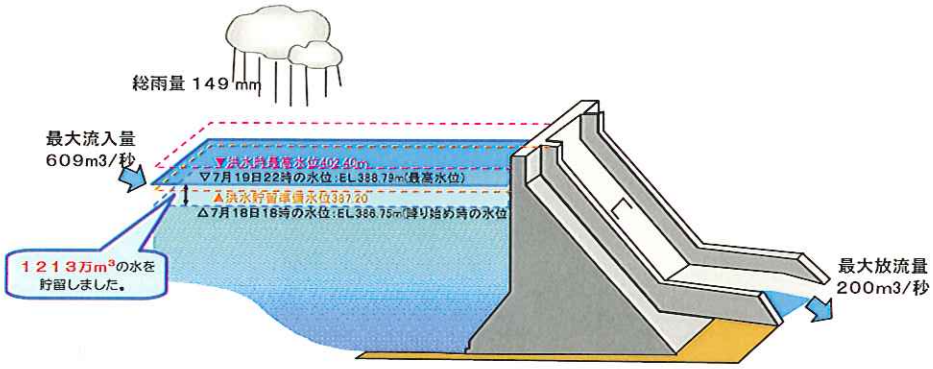
国土交通省　東北地方整備局　玉川ダム管理所
秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無９２
TEL　０１８７－４９－２１７０
管理所長　千葉　和民（内線２０１）
管理係長　金津　茂人（内線３３２）

7月19日洪水における玉川ダムの洪水調節効果

●7月19日低気圧による降雨における玉川ダム洪水調節状況





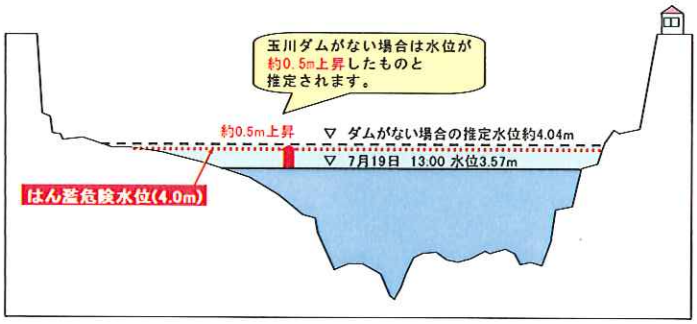


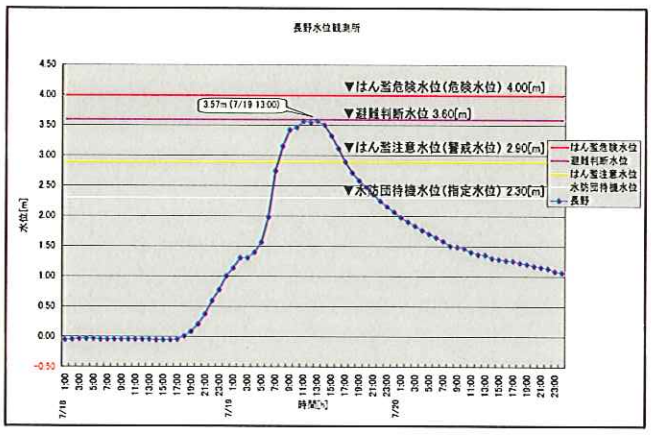
●玉川流域の位置図



●長野地点水位状況

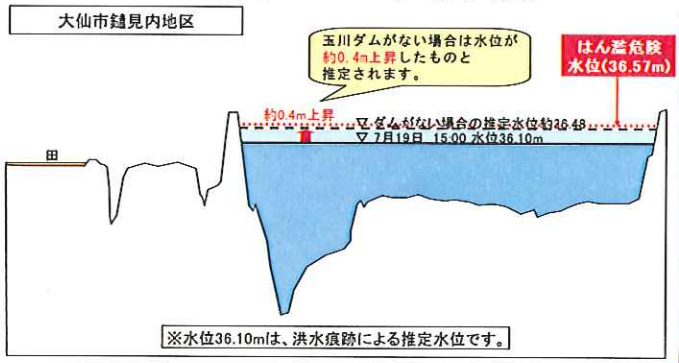
玉川ダム下流の長野地点





●長野地点下流鑓見内地区(危険箇所)

大仙市鑓見内地区



7月19日15:00現在の大仙市鑓見内地区水位状況



ダムがなければ、はん濫危険水位と同等の水位になったと想定されます。